

# 令和初日 33年ぶり公開

## 秘仏3体

神戸市灘区の摩耶山天上寺で1日、秘仏「十一面観音」「不動明王」「毘沙門天」の尊像3体が33年ぶりに開帳された。多くの参拝者が訪れ、「平成」では見ることのできなかつた秘仏を目にした。(長沢伸一)

神戸・摩耶山天上寺  
御朱印集め  
笑顔の人も

伊藤浄厳貫主(80)によると、十一面観音像は同寺を建てた法道仙人が作ったという。不動明王像と毘沙門天像は作者不明だが、法道仙人ゆかりのものとされる。午前11時から開白法会が金堂で営まれ、3体の尊像が33年ぶりに姿を現した。

御朱印帳をもらおうと参拝した神戸市西区押部谷町福住の会社員五十嵐崇博さん(48)は「尊像を見ることができ、縁起の良い新時代の始まりになった。ここをスタートに御朱印を集めます」と笑顔だった。

開帳は15日までの午前9時〜午後5時。8日には仏母会・花会式が行われ、甘茶の接待もある。12日には花法要、15日には仏母忌・花供養なども。同寺 ☎078・861・2684

また、六甲山観光が12日にバスツアー(神戸三宮発着)を開催。参拝、法要への参列のほか、六甲ガーデンテラスでの特別ランチなどがある。参加費5700円。六甲山観光 ☎078・

894・2210(平日午前9時〜午後6時)



開帳された3体の尊像。(奥左から)毘沙門天像、十一面観音像、不動明王像―神戸市灘区摩耶山町